



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 白銅株式会社

上場取引所 東

コード番号 7637 URL <https://www.hakudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,460	12.2	764	38.4	802	37.4	548	38.7
2019年3月期第2四半期	23,308	14.3	1,241	4.5	1,282	4.5	895	3.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 439百万円 (49.7%) 2019年3月期第2四半期 873百万円 (14.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	48.40	
2019年3月期第2四半期	78.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	30,072	16,492	54.8
2019年3月期	33,616	16,928	50.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,492百万円 2019年3月期 16,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		77.00	77.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				58.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	9.3	1,560	30.7	1,630	30.2	1,090	30.4	96.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P8「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	11,343,300 株	2019年3月期	11,343,300 株
2020年3月期2Q	1,292 株	2019年3月期	1,292 株
2020年3月期2Q	11,342,008 株	2019年3月期2Q	11,342,008 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

(a) 売上高

売上高は、前年同四半期比12.2%減少し、204億6千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦問題の激化や中国経済減速により先行き不透明感が強まり、工作機械受注が急減するなど、製造業の設備投資意欲に後退が見られました。

当社グループ業績に影響が大きい半導体製造装置業界は、世界的なメモリ価格の低下や需給の緩みを受け、設備投資が減速しました。また、FPD製造装置業界も同様に減速しました。

このような状況の中、当社グループは、2017年以降、工場拠点を増やすと共に、ロボットなど省人・省力化生産設備の積極投入、IoT(Internet of Things)の推進による製造現場の革新を進め、製造キャパシティのアップを行いました。又、お客様センターの対応品質の向上、社員教育の充実による能力向上により、顧客満足度の向上を図っております。商品面においては、JIS規格品に比べ平坦度と板厚精度を大幅に向上させた高精度材料をラインナップした「ハイスペックシリーズ」、欧州の厳しい環境規制に適合した「エコシリーズ」、航空・宇宙規格に適合した「航空宇宙規格材料シリーズ」など需要拡大が見込める特徴ある材料を中心に品揃えを増やしました。24時間365日お見積り・ご注文が可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」は、12,200品目サイズまで拡充すると共に、お客様が利用しやすい入力フォームへ改良しました。今後とも、継続的に利便性の向上に取り組んで参ります。

海外事業の拡大については、ベトナム駐在員事務所の開設以降、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.と共に、東南アジア地域の市場調査および情報収集を強化しております。また、上海白銅精密材料有限公司においても「白銅ネットサービス」の中国版である「上海白銅ネットサービス」の継続的な利便性の向上に取り組んでおります。

新規事業の構築では、2台目の3Dプリンター増設後、アルミダイカスト製品の材料として広く使われ、JIS規格品でもある「ADC12」の粉末を使うアルミ造形サービスを開始し、“3D+ONE”をキャッチフレーズに、設計サポートから量産化対応までの3D造形に関するトータルソリューションをご提供して参ります。

その他、2019年2月にアルミニウム卸売業の高瀬アルミ株式会社の全株式を取得し、連結子会社としました。同社の優良顧客基盤に対して、当社が取り揃える12,200品目サイズの商品を販売することで、事業規模の拡大が期待できると共に、当社グループの既存の経営リソースを活用した経費削減等のシナジーも期待できると考えております。

これらの施策を実行いたしました。需要の減少が大きく響き、売上高が前年同四半期比で減少しました。

(b) 営業利益

営業利益は、前年同四半期比38.4%減少し、7億6千4百万円となりました。

営業利益の減少要因は、販売の落ち込みによる売上高の低迷及び原材料市況の影響によるもので、前年同四半期の商品在庫に係わる相場差益は9千万円でしたが、当第2四半期連結累計期間の商品在庫に係わる相場差損は1億1百万円でした。

原材料市況の影響額を除いた営業利益は、前年同四半期比で24.7%減少し、8億6千6百万円となりました。

(c) 経常利益

経常利益は、営業利益の減少により前年同四半期比37.4%減少し、8億2百万円となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5億4千8百万円（前年同四半期比38.7%減）となりました。

セグメント毎の業績は次のとおりとなります。

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

セグメント	売上高	営業利益	経常損益	親会社株主に帰属する 四半期純損益
日本	19,839百万円	743百万円	778百万円	533百万円
中国	583百万円	1百万円	△1百万円	△1百万円
その他	314百万円	24百万円	25百万円	20百万円

② 当社を取り巻く環境

原材料市況は、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）がトン当たり前連結会計年度末の26万1千円から9月末は24万2千円に、電気銅建値は前連結会計年度末の74万円から9月末には66万円に下落し、ステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）は前連結会計年度末の35万円から変動はありませんでした。

（2）財政状態の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、300億7千2百万円と、対前連結会計年度末比で35億4千4百万円減少しました。

流動資産は、217億6千5百万円と、対前連結会計年度末比で35億7千7百万円減少しました。減少額内訳は、現金及び預金19億7千1百万円、受取手形及び売掛金14億9千2百万円、商品及び製品1億3千2百万円等です。

固定資産は、83億6百万円と、対前連結会計年度末比で3千3百万円増加しました。増加額内訳は、有形固定資産7千6百万円等です。

（負債）

負債合計は、135億7千9百万円と、対前連結会計年度末比で31億8百万円減少しました。

流動負債は、135億2千5百万円と、対前連結会計年度末比で31億4百万円減少しました。減少額内訳は、支払手形及び買掛金12億2千3百万円、電子記録債務10億2百万円、1年内返済予定の長期借入金3億5千7百万円等です。

固定負債は、大きな増減はありませんでした。

（純資産）

純資産は、164億9千2百万円と、対前連結会計年度末比で4億3千5百万円減少しました。減少額内訳は、利益剰余金3億2千6百万円等です。

自己資本比率は、前連結会計年度末の50.4%から54.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。特に、利益は原材料市況の変動により影響を受けることとなります。現時点において、2019年10月9日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で修正いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,087,648	4,115,824
受取手形及び売掛金	12,000,889	10,508,511
電子記録債権	1,330,099	1,330,378
商品及び製品	5,841,088	5,709,010
原材料及び貯蔵品	24,869	26,679
その他	81,433	96,230
貸倒引当金	△22,657	△20,914
流動資産合計	25,343,370	21,765,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,490,038	7,594,810
減価償却累計額	△5,624,313	△5,696,125
建物及び構築物（純額）	1,865,725	1,898,685
機械装置及び運搬具	6,718,752	6,961,684
減価償却累計額	△3,825,164	△3,999,781
機械装置及び運搬具（純額）	2,893,587	2,961,902
土地	1,903,901	1,903,901
その他	608,781	613,866
減価償却累計額	△436,831	△466,637
その他（純額）	171,949	147,229
有形固定資産合計	6,835,164	6,911,719
無形固定資産	406,893	417,504
投資その他の資産		
投資有価証券	444,180	407,592
繰延税金資産	290,732	302,834
退職給付に係る資産	59,308	56,809
その他	236,790	210,204
投資その他の資産合計	1,031,011	977,440
固定資産合計	8,273,069	8,306,664
資産合計	33,616,440	30,072,384

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,507,566	6,283,693
電子記録債務	6,921,325	5,919,178
未払費用	692,770	630,184
1年内返済予定の長期借入金	357,196	—
未払法人税等	372,195	286,218
賞与引当金	306,273	219,178
役員賞与引当金	57,000	16,000
その他	416,134	171,097
流動負債合計	16,630,460	13,525,551
固定負債		
繰延税金負債	794	199
長期預り保証金	14,150	14,150
退職給付に係る負債	26,620	23,743
その他	16,099	16,065
固定負債合計	57,664	54,158
負債合計	16,688,125	13,579,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	15,078,809	14,752,390
自己株式	△1,460	△1,460
株主資本合計	16,698,746	16,372,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,336	91,870
為替換算調整勘定	108,231	28,475
その他の包括利益累計額合計	229,567	120,346
非支配株主持分	0	0
純資産合計	16,928,314	16,492,674
負債純資産合計	33,616,440	30,072,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	23,308,230	20,460,511
売上原価	19,620,457	17,372,404
売上総利益	3,687,772	3,088,107
販売費及び一般管理費	2,446,377	2,323,320
営業利益	1,241,395	764,787
営業外収益		
受取利息	2,396	4,081
受取配当金	4,643	7,363
不動産賃貸料	38,154	42,433
受取補償金	—	12,359
その他	14,716	7,521
営業外収益合計	59,911	73,759
営業外費用		
不動産賃貸費用	15,550	8,112
固定資産処分損	1,665	2,856
固定資産売却損	—	6,461
支払手数料	248	250
為替差損	—	6,706
ゴルフ会員権評価損	—	4,780
その他	1,639	7,320
営業外費用合計	19,104	36,487
経常利益	1,282,201	802,058
税金等調整前四半期純利益	1,282,201	802,058
法人税等	386,935	253,142
四半期純利益	895,266	548,916
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	895,266	548,916

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	895,266	548,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,506	△29,465
為替換算調整勘定	△40,328	△79,755
その他の包括利益合計	△21,821	△109,221
四半期包括利益	873,444	439,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	873,444	439,694
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。